



移住者のための



【ゲーム型リアルツアープロジェクト】

沼住

沼津未来クリエイティブ 沼住プロジェクト



事業目的

移住者同士のコミュニティ形成や地域文化への参加を通じて、孤独感を解消し、
地元への馴染みを促進することを目指しています。
これにより、沼津市の魅力を再発見してもらうとともに、移住者の定住を推進します。

現状と目標

移住者からは「地域に馴染めず孤独を感じている」「地元住民や移住者同士と交流する機会がない」といった相談が多く寄せられており、定住に結びつきにくい状況が見受けられます。そこで、この課題を解決するため、多くの移住者が気軽に参加できる仕組みを整え、オリジナルツアーを年4回開催しました。ツアーは全て満席となる好評を得ており、活動の認知度も着実に広がっています。今後も継続的な取り組みを通じて沼津市の魅力を再発見していただき、移住・定住の促進へとつなげていきたいと考えています。



ツアー専用オリジナルマップ

活動と成果

【ツアーの仕組み検討と準備】

協賛募集、協力事業者・賢者探し、マップ・ポスター制作
広報沼津への掲載依頼やHP制作、情報発信

【広報・協体制づくり】

協賛企業や協力事業者との調整
広報沼津(8/15号)掲載、マップ・ポスター・チラシで周知
9月「地元愛物産展」へ出店し、移住者や地域住民との接点を拡大

【移住者と市民の交流ツアー(沼住クエスト2)】

スタッフ4名体制で全4回開催/各回定員10名・参加料1,000円
(冒険マップ・バッグ・沼津市ピンバッチ付)ゲーム要素を取り入れ、移住者と在住者が一緒に沼津のレアスポットを巡り交流を深めた。ご好評につき満席。

9/21 海から見た沼津ツアー(沼津港・びゅうお)

10/13 淡島ホテルと秘密の部屋ツアー(淡島)

11/2 冒険者の酒場ツアー(酒の矢田)

12/7 お宝さがしツアー(循環ワークス)

【関連イベント】

11/16 沼津ファンシング協会イベントにて移住について講演を行い、地域との連携を広げた。

9/14, 15 地元愛物産展出店

ツアーでは、各回とも移住者と市民が交流を深め、新たなつながりが生まれた。アンケートでは参加者の満足度が高く、孤独感の軽減や地域定着意欲の向上に寄与したことが確認された。また、観光や地域経済への好影響も見られた。

- 移住者・参加者同士の交流機会を提供し、新たなつながりを創出できた。
- アンケートでは、参加者の75%が「次回も参加したい」と回答し、継続的な交流への意欲が確認された。
- 地域住民との交流の場を設けたことで、移住者と地元住民の相互理解が進み、地域社会のつながりが強化された。
- 参加者の96%が「沼津がさらに好きになった」と回答し、地域への愛着や観光地・店舗への関心が高まった。
- ツアーを通じて人とのつながりと地域への愛着が深まり、安心して暮らせる環境づくりにつながった。今後は長期的に、地域の活性化にも寄与することが期待される。



海から見た沼津ツアー



淡島ホテルと秘密の部屋ツアー



お宝探しツアー



冒険者の酒場ツアー

沼津の隠れた顔
覗いてみませんか?

移住者・在住者
どなたさまも
参加できます

沼住クエスト
移住者と市民の交流ツアー

2024年
9/21(土)・10/13(日)・11/2(土)・12/7(土) 申込締切日 8/21まで
午前 10:00~12:00 参加料:おひとり様 各ツアー1回 1,000円(税込)
※申込多数の場合は抽選となります

9/21(土) 10:00~12:00 海から見た沼津ツアー
千島観光汽船の遊覧船に乗船できる!
(沼津港やびゅうおも観覧しよう!)

10/13(日) 10:00~12:00 淡島ホテルと秘密の部屋ツアー
超レア体験!淡島ホテルの中を
体験できるぞ!

11/2(土) 10:00~12:00 冒険者の酒場ツアー
やがて開業のデウスからTHE CHAMBER
「運命の居酒屋」をみんなで仲良く楽しもう!

12/7(土) 10:00~12:00 お宝探しツアー
沼津のお宝を探そう!
レアスポットに勇者が案内するぞ。

沼住 沼住公式HP <https://numajyu.com>

沼津未来クリエイティブ(沼住クエストプロジェクト) 静岡県沼津市大平町 4-5-12 うるわしビル 2F 沼住クエストの中心 X(旧Twitter) Instagram 沼住クエストの中心 沼住クエストの中心

後援:沼津市 協力:(株)千島観光汽船・淡島ホテル

振り返り課題

本事業は、移住者同士のつながりを促進し、孤独感の軽減や定着意欲の向上に大きく貢献した。参加者の96%が「良かった」と評価し、当初の目的に対して高い成果を確認できた。交流機会の提供を通じて新たなつながりや地域活動への関心が生まれ、移住者と地元住民の相互理解も進んだ。結果として、地域のつながりが強まり、観光地利用の活性化など地域経済にも好影響を与えている。一方で、より多くの移住者が参加しやすい仕組みづくりや、地域住民との交流強化が今後の課題である。事業の成果をさらに高めるために、継続的な取り組みが求められる。

